

閣下第三八〇號

起
昭和三十一年十一月十二日

裁可昭和三十一年十一月十二日施行
決定昭和三十一年十一月十二日

昭和三十一年十一月十六日
告示

内閣總理大臣

馬

内閣書記官長

内閣書記官長

内閣書記官

告示案

内閣告示第三十三号

現代國語の口語文を書きあらわすかなづかいを次のように定める。

昭和三十一年十一月十六日

463

内閣総理大臣

現代かなづかい
まえがき

- 一 このかなづかいは、大伴、現代語音にもとづいて、現代語をかなで書きあらわす場合の準則を示したものである。
- 一 このかなづかいは、主として現代文のうち、口読作のものに適用する。
- 一 原文のかなづかいによる必要のあるもの、またはこれを変更しがたいものは除く。

ユウ	發音	オエオウイワズジガカオエイ	發音
ゆう	新かなづかい	おえおういわずじがcao えい	新かなづかい
いう いふ いふ いふ	備考 (田かなづかい) (を永す。)	ほへふふひはづぢぐをえぬ	備考 (田かなづかい) (を永す。)

新田かなづかい対照表

削除

表走下回すも逆則

- 第一 ア列長音はア列のかなにあをつけて書く。
- 第二 イ列長音はイ列のかなにいをつけて書く。
- 第三 ウ列長音はウ列のかなにうをつけて書く。
- 第四 エ列長音はエ列のかなにえをつけて書く。
- 第五 オ列長音はオ列のかなにををつけて書くことを左則とする。
- 第六 ア列拗音の長音はア列拗音のかなにあをつけて書く。
- 第七 ヲ列拗音の長音はウ列拗音のかなにうをつけて書く。
- 第八 オ列拗音の長音はオ列拗音のかなにををつけて書くことを左則とする。
- 第九 拗音をあらわすには、やゆよを用ひ、なるべく右下に小さく書く。
- 第十 促音をあらわすには、つを用ひ、なるべく右下に小さく書く。

リョオ	シヨオ	ヒヨオ	ニヨオ	チヨオ	ジョオ
-----	-----	-----	-----	-----	-----

リョウ	ミョウ	ビョウ	ヒョウ	ニョウ	チョウ	ジョウ
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

リョウ	ミョウ	ビョウ	ヒョウ	ニョウ	チョウ	ジョウ
れう	めう	べう	へう	まう	まう	せう

細則

第一 ぬえをはいえおと書く。バツし助詞のをを除く。

一、ぬえいと書くもの

いど (井戸) いのしし (猪) くわい (慈姑) あい (藍)

まい (参る) いる (居る)

いび (胃病) けんい (權威) いち (位置) いえ (遺産)

いに (委任) たい (太尉)

くい (区域)

く (職員) び (病院) よん (余韻) すい (水道)

すい (推察) すい (炊事) すい (衰弱) すい (分)

い (一対)

ゆい (遺言)

しん (親類)

二、ぬえをえと書くもの

声

こえ (音) つえ (杖) すえ (末)

うえ (植える) すえ (据える)

えと (會得) ちえ (智慧) えこ (回向)

このえ (近衛)

ちえ (超越)

えん (遠近) こうえん (公園) けんえん (大猿)

いちえん (一圓) びよえん (市苑) えん (怨嗟)

えん (援助) えん (冤罪)

三、ぬえをえと書くもの

おけ (桶) おか (岡) うお (魚) とお (土)

おど (踊る) おし (教へる) しお (憂れる)

おし (惜しい) おか (をかしい) あお (青い)

おめい (汚名) おかん (寒寒)

ろう (老翁)

例

11

何

196

(1)
例
ゆずる (譲る) うずめる (埋める) さすける (授ける)
めずかしい (珍らしい) はずかしい (恥かしい)
しずかに (静かに) あず (先づ)
だす (大豆) すじ (頭上) さんずのかわ (三途の川)
すが (画) 図

(2)
例
はちぢ (鼻血) もらいぢぢ (もらい乳)
しぢりめん (緋縮緬) ちぢか (近々)
みそづけ (味噌漬) つかづき (三日月)
しぢづな (引綱) つねづね (常々)
いれぢえ (入智慧) ちぢぢぢぢ (茶飲茶碗)
同音の連呼によつてまたぢぢぢぢと書く。

第四
つに發音されははわと書く。たゞし助詞のはははと書くことを
左則とする。
例
かわら (瓦) かわ (河) にわ (庭)
あらわす (著す) まわる (廻る) こわれる (壊れる)
あらわな (洗はない) あづかわない (扱はない) うたわない (歌はない)
かわいらしい (かはらしい) くわしい (詳しい) けわしい (険しい)
にわか (俄かに) すなわち (則ち)
びわ (琵琶) びわ (枇杷)

第五
例
いには發音されるいはいと書く。

第六

ウに発音される小はうと書く。

うぐいす (鶯) たい (鯛) はい (灰) ぐわけ (言) 訳
 ついやす (貴す) たいらける (手ける) ならいあす (習いあす)
 おもいます (思います) いたがいます (従います)
 ちいさい (小さい) こい (恋) 高い (高い)
 ついに (遂に)

例

あらう (洗小) まう (舞小) あう (合小) かう (買小)
 うたう (歌小) しなう (寝小) いう (言小) くらう (食小)
 すう (吸小) ゐう (縫小) ゆう (結小) くらう (狂小)
 あらう (平小) うけおう (請買小) おもう (思小)
 あわう (危い)

第七

オに発音される小はおと書く。

例

あおい (葵) あお (溺) たい (倒す)
 あおう (仰ぐ) あお (溺る) たい (倒す)

第八

エに発音されるへはえと書く。ただし助詞のへは、へと書くこととを本則とする。

例

かえる (蛙) いえ (家) まえ (前) かんがえ (考)
 かえる (帰る) さえする (噂る)
 すくえ (救へ) しろえ (拾へ)
 さえ (助詞さへ)

第九

オに発音されるほは、おと書く。

例

いけおい (執事) かお (顔) しお (塩) におい (匂)
 おおかみ (狼) おおやけ (公) こおり (氷)
 こおろぎ (蟋蟀) ほおすけ (酸将水) ほお (頬)
 ほおのき (朴木) もよおし (催し)
 おおす (直す) しおおせる (為遂せる) とどおる (滞る) とおる (通る)

おあい (多い) おおきい (大きい) とおい (遠い)

ちあい (猶)

第十

ユの長音は、ゆうと書く。

一、いうをゆうと書くもの

ゆうじん (友人)

ゆうげん (幽玄)

ゆうじん (郵便)

ゆうわく (誘惑)

りゆう (理曲)

しゅう (所有)

ゆうぶ (遊戯)

ゆうじん (悠然)

ゆうり (憂慮)

二、いふをゆうと書くもの

とゆう (都絶)

三、ゆふもゆうと書くもの

ゆうがた (夕方)

第十一

エ列長音は、エ列のかなにえをつけて書く。

例

ねえさん (姉さん)

ええ (應答の語)

第十二

オの長音は、おいと書く。

例

あうをおいと書くもの

おうか (桜花)

ちゅうおう (中央)

おうむ (鵓)

おう (奥羽)

二、わうをおうと書くもの

よおう (弱)

おうらい (後来)

こくおう (國重)

おうせい (旺盛)

おうじ (皇子)

おうじん (黄金)

おうし (横死)

三、あふをおうと書くもの

おうぎ (扇)

おうみ (近)

おうとつ (凹凸)

おうちう (押捺)

おうく (鴨)

おう (鴨)

四、はうをおうと書くもの

あおう (逢はう)

かおう (買はう)

まおう (舞はう)

こおう (強)

第十三

コおよびゴの長音は、こう、ごうと書く。

例

かうをこうと書くもの

こうじ (類)

こうがい (竿)

こうべ (神戸)

さこう (咲かう) きこう (開かう)
こうばしい (かうばしい)
あこう (赤かう) ちこう (近かう) こう (斬かう)
こううん (好運) こうい (孝慮) ほうこう (方向) しこう (酒肴)
こうすい (香水) こうげ (講義) こへい (高山) けいかい (航海)
こうく (香福) こうか (効果) こうつう (交通) こうく (降伏)
こうかう (校風) こうい (行爲) けんこう (健康)
くわうをこうと書くもの
こうせん (光線) こうたい (煥大) こうけい (廣狹)
こうしき (黄色) こうぞく (皇族) こうてん (荒天)
三、 か小をこうと書くもの
こうおつ (甲乙) たいこう (太閤) こうかく (岬角)
四、 こ小をこうと書くもの
こう (効) けい (岬角)
五、 がうをこうと書くもの

第四

ハ、 び小をこうと書くもの
えいじう (永劫) ざいじう (罪業)
ソ、 およびゾの長音は、 そう、 ぞうと書く。
例、
さうをぞうと書くもの
はなそう (話さう) かえそう (忍さう) ちらそう (散らさう)
あそう (ぼさう)
ぞう (然さう)

いぞじう (急がう) なじう (長う)
はんじう (番号) さいじう (西郷) じういん (強引)
ぶんじう (文豪) じうせん (傲然)
六、 ぐわうをこうと書くもの
じうじう (轉々)
七、 が小をこうと書くもの
いちじう (一合)
八、 び小をこうと書くもの

第十四

トロトロの長音マとうとうと書く

例

たうをとうと書くもの

とうげ (峠) たとうがみ (畳紙)

四、ぶふをとうと書くもの

ぞうけん (雑巾)

三、さうをとうと書くもの

せいぞう (製造) ぞうし (蔵書) ぞう (象) しょうぞう (肖像)

二、さばをとうと書くもの

さうろう (猿小)

さうじ (掃除) ぞう (一雙) ぞうが (爪牙) ぞうち (早朝)
さうい (相違) ぞう (倉庫) じゅう (重畳)
さうねん (壮年) たい (作操) ぞうもく (草木)
さうどう (騒動) ぞう (争闘) ぞうり (喪失) ぞう (葬式)

第十六

ノの長音は、のうと書く

例

なうをのうと書くもの

しのう (死なう) 脳 あぶのう (あぶなう)
だいのう (大膽) くのう (苦難) のうち (うちゅう) 悩

なうをのうと書くもの

二、なをとうと書くもの

なうべん (答弁) とう (塔) とうは (踏破) すいとう (出納)

三、だうをとうと書くもの

だうろ (道路) こうどう (講堂) かいどう (海案) ぶどう (葡萄)

うとう (打たう) かとう (勝たう) だとう (だたう) いとう (痛う)

かとう (堅う) とうけん (刀剣) とうし (島嶼) とうばつ (討伐) とうどく (盗賊)

さとう (砂糖) とうせん (当せん) ねとう (熟湯) おうとう (桜桃)

とうき (陶器) まとう (祈禱) ついとう (追悼)

のうに収(ハウ)入(ハ)

三、のふをのうと書くもの

きのう(昨日)

第十七

ホおよびホの長音はほう、ぼうと書く。

例

一、ほうをほうと書くもの

ほうけ(簿) ほうむる(葬)

ほうこく(報告) ほうか(邦家) こくほう(國庫)

ほうく(方策) ほうか(包括) ほうび(褒美)

二、は(またはほ)をほうと書くもの

はうる(投)

ほうりつ(法律) ほうし(法師)

三、ば(またはぼ)と書くもの

は(ぼ) (八方)

第十八

ば(またはぼ)をほうと書くもの

り(ぼ) (立法) せ(ぼ) (説法)

五、ば(またはぼ)と書くもの

あ(ぼ) (落) とほう(飛) は(ぼ) (運) ぼう(書)

ほうどう(暴動) ほうけん(冒険) ぼう(坊主) ぼう(書)

め(ぼ) (滅亡) き(ぼ) (希望) ぼうち(膨脹)

六、ば(またはぼ)をほうと書くもの

ばん(貧乏)

第十九

モの長音はもうと書く。

例

もう(儲ける) もうす(申す) やす(休) まう(毛髪)

た(もう) (頼) まう(甘) せ(もう) (狭) もう(毛髪)

もう(妄動) もう(盲目) ほん(本) ぼう(望) もう(網膜)

第十九

ヨの長音はようと書く。

例

一 やうをようと書くもの

ようか (八日) はよう

かいよう (海洋) しょうけい (様式) たいよう (太陽) しょうりく (楊柳)

二 えうをようと書くもの

えうり (要領) ばちよう (日曜) ようはい (延拜)

ようけく (謡曲) ようねん (幼年) ようせう (夭折)

三 えふをようと書くもの

こうよう (紅葉)

第二十

ロの長音はろうと書く。

例

一 らうをろうと書くもの

いのらう (祈り) かえらう (帰る)

くらう (暗) ころう (子) あらう (租) ろういん (老人)

ろうどう (労働) めいろう (明朗) ろうか (廊下) たらう (太郎)

旧

二 らふをろうと書くもの

ろうく (蠟燭) さゆらう (西臘)

第二十一

チュおよびモの長音はちゅうと書く。

例

一 ちゅうをちゅうと書くもの

おおちゅう (大い) さちゅう (休養)

ちゅうり (要求) さちゅうり (丘陵) えいちゅう (悠久)

ちゅうり (要求) さちゅうり (丘陵) えいちゅう (悠久)

二 ちをちゅうと書くもの

きちゅう (急務) さちゅう (及第)

かいちゅう (階級) かんさちゅう (感泣)

三 ぎをちゅうと書くもの

ぎちゅう (牛乳)

第二十二

シュおよびジの長音はしゅうと書く。

例

しうをしゆうと書くもの

しゆうと (舅) しゆうとめ (姑)

あたらししゆう (新しう) すずしゆう (新しう)

しゆうよう (修養) しゆううん (舟運) しゆうじん (囚人)

ゆうしゆう (優秀) しゆうばう (就業) しゆうにゆう (収入)

しゆうけ (臭気) ばんしゆう (晩秋) きゆうしゆう (九州)

しゆうちゆう (酋長) しゆうい (周) こんしゆう (今週)

しゆうしゆうと書くもの

しゆうとく (拾得) しゆうちやく (執着) しゆうちゆう (集中)

しゆうめい (龍名) れんしゆう (練習) へんしゆう (編輯)

三、じうをしゆうと書くもの

じゆうなん (柔軟) じゆうまい (獸類)

四、じをじゆうと書くもの

じゆう (十) ぼくじゆう (墨汁) じゆうけ (什器)

五、ぢゆうをじゆうと書くもの

第三三 ぢの長音は、ちゆうと書く。

例

一、ちうをちゆうと書くもの

はくちゆう (白晝) ちゆうざう (铸造) ちゆうたい (紐帶)

うちゆう (宇宙) ちゆうしゆう (抽出) せいちゆう (掣子)

第三四 ぢの長音は、にゆうと書く。

一、にうをにゆうと書くもの

にゆうわ (柔和)

二、にをにゆうと書くもの

にゆうがく (入学)

第三五 ぢおなじぢの長音は、いゆう、いゆうと書く。

一、いうをいゆうと書くもの

いゆうが (日向)

二、ばうをびゅうと書くもの

いびゅう (誤習)

第二十六 リュの長音はりゅうと書く。

一、りゅうをりゅうと書くもの

りゅうい (留意) せりゅう (り柳) りゅうこう (流)

二、りふをりゅうと書くもの

こんりゅう (建立) いちりゅう (一粒)

第二十七 もよおびぎヨの長音はきようきようと書く。

一、きやうをきようと書くもの

きやうたん (敬馬嘆) ねきやう (熱狂) きやうだい (兄弟)

きやうろう (競走) きやうだい (鏡台) きやうりき (強力)

とうきやう (東京) きやうもん (経文) こきやう (故郷)

きやうおう (飲食應)

二、けうをきようと書くもの

きやうじう (校舎) きやういく (教育) テツケウ (鉄橋)

三、けふをきようと書くもの

きやう (今日) きやうい (脅威) きやうりき (協力) きやうじ (俠氣)

四、おをけうと書くもの

おけう (修行) ばんけう (人形)

五、げうをけうと書くもの

こんげう (今曉) げうしん (見舞)

六、げふをけうと書くもの

げふむ (世末務)

第二十八 じョおよびじヨの長音はしと書く。

一、しやうをしと書くもの

しやうい (二直) しやうばい (高賣) しやうさい (詳細) ぶしやう (員傷)

しやう (一生) しやうかい (唱歌) しやうら (将束) ばんしやう (文章)

二、せうをしやうと書くもの
しやうせう (小説) しやうじん (少年) まへりましよう (参りませう) よいで (よいでせう) (よいでせう)

しやうしやう (召集) しやうたい (招待) しやうめい (照明) ばいしやう (微笑) しやうしつ (焼失) あんしやう (暗礁)

三、せうをしやうと書くもの
しやうしやう (交渉) さいしやう (妻妾) しやうけい (捷徑)

四、しやうをいしやうと書くもの
いしやう (上手) かんいしやう (感情) いしやう (状態) ばいしやう (漢字) じんいしやう (尋常)

五、がしやうをいしやうと書くもの
しやう (市場) かいしやう (令嬢) いしやう (丈夫) ばいしやう (定石) ばいしやう (鏡)

六、ぜうをいしやうと書くもの
いしやう (饒舌) そしやう (騷擾)

七、ぜうをいしやうと書くもの
ぜうしやう (贅)

八、でしやうをいしやうと書くもの
さんじやう (三條) ろくじやう (六疊) いちじやう (一帖)

第三九 名の長音は、ちやうと書く。
例

ちやうちやうと書くもの
ちやうかい (町会) ちやうだん (正旦) ちやう (腸)

ちやうしやうと書くもの
ちやうしやう (市電) ちやうしやう (鳥類) ちやうしやう (朝食) ちやうしやう (彫刻)

ちやうちやうと書くもの
ちやうちやう (前兆) ちやうちやう (調子) ちやうちやう (彫刻)

第三十 ニョの長音は、にやうと書く。
ぬやうと書くもの

にやう (尿) ネウ

第三十一

ヒヨ およびビヨの長音は、いやう、いあうと書く。

例

一、いあうをいあうと書くもの

いあうばん (評判) ヒョウバン いあうそく (平仄) ヒョウソク たいいあう (大兵) ダイヒョウ

二、へうをいあうと書くもの

いあうり (表裏) ヘウリ にいあう (二俵) ニヘウ とういあう (投票) トウヘウ

いあう (豹) ヘウ

三、いあうをいあうと書くもの

いあうぶ (屏風) ビョウブ いあうけ (病氣) ビョウキ いあう (鏝) ビョウ

四、べうをいあうと書くもの

いあうしや (描字) ベウシヤ れいあう (霊廟) レイベウ

第三十二

シヨの長音は、みあうと書く。

例

霊

一、かやうをみあうと書くもの

みあうにち (明日) ミョウジツ じやみあう (毒令) ジユウメイ みあうない (名代) ミョウダイ

みあうが (冥加) ミョウカ

二、めうをみあうと書くもの

みあうび (妙技) ミョウギ みあうび (苗字) ミョウジ

第三十三

リヨの長音は、りあうと書く。

一、りあうをりあうと書くもの

りあうほう (善良) ゼンリヤウ りあうほう (両方) リョウハウ りあうと (領土) リョウド

二、れうをりあうと書くもの

りあうり (料理) リョウリ しやうりあう (終了) シュウレウ かんりあう (官僚) カンレウ

りあう (寮) リョウ せきりあう (寂寥) セキレウ ぶりあう (無聊) ムリョウ

三、れふをりあうと書くもの

りあう (獵) リョウ

注意一

「ク、カ」「ヅ、ガ」および「ヂ、ジ」「ヅ、ズ」をいい分けている
地方に限り、これを書き分けてもさうかえない。

注意二

誤例の下に示した漢字中、常用漢字表外のものには
×印をつけた。また漢字の右側につけた片かなは旧か
なづかいをあらわす。

〔備考〕

- 第一 ア列長音は、ア列のかなにあをつけて書く。
- 第二 イ列長音は、イ列のかなにいをつけて書く。
- 第三 ウ列長音は、ウ列のかなにうをつけて書く。
- 第四 エ列長音は、エ列のかなにえをつけて書く。
- 第五 オ列長音は、オ列のかなにうをつけて書くことを本則とする。
- 第六 ア列拗音の長音は、ア列拗音のかなにあをつけて書く。
- 第七 ウ列拗音の長音は、ウ列拗音のかなにうをつけて書く。
- 第八 オ列拗音の長音は、ア列拗音のかなにうをつけて書くことを本則とする。
- 第九 拗音をあらわすには、や、ゆ、よを用い、なるべく右下に小さく書く。
- 第十 促音をあらわすには、っを用い、なるべく右下に小さく書く。

参考

○内閣告示第一號

資源ニ関スル標準用語中 金屬類、鑛物類
及土石類ニ関スルモノ左ノ通之ヲ定ム

昭和十一年一月九日

内閣總理大臣岡田 啓介

金屬類、鑛物類及土石類標準用語

標準用語

(同義語)

ア

アルミナセメント

礫土セメント

内閣